

B O U S A I U M A P
防災マップ

災害による犠牲者を地域から出さないために...
私たちがやるべきことをまとめました

この防災マップは、平成27年8月に開催された
『地区の防災を考える住民懇談会』において、
区役員をはじめとした有志住民によって検討され、作成されたものです。



朝日村 下組地区 土砂災害への備え 七箇条

私たちの住む下組地区は集落南面に急峻な斜面をもち、地区内のほとんどが土砂災害警戒区域に指定されています。過去には(昭和58年台風10号襲来時)、宮沢から土砂が流出し家屋損壊などの被害も発生しており、土石流や沢の氾濫などの危険があります。

近年の大型台風や突発・局地的な豪雨による土砂災害などの風水害の発生に備え、村からの避難情報が発令される前でも地域の状況を判断し、自主避難ルールに従って行動してください。

《 日頃からの備え 》

其ノ一 避難場所を確認する

『土砂災害緊急避難地図』で、避難所や地区内の安全な場所を確認しておきましょう。

其ノ二 地域の土砂災害危険箇所・避難経路を確認する

『土砂災害緊急避難地図』で、自宅周辺の危険箇所や避難経路を確認しておきましょう。

其ノ三 地区長や近所の方との連絡方法を確認する

“避難の呼びかけ”は、次のページの連絡体制に従って行います。

《 降雨時の対応 》

其ノ四 雨量に注意する

雨が降り出したら、ワンカップを使って、各自で雨量を計測する習慣をつけましょう。

其ノ五 自宅周辺の様子に注意する

雨が降り出したら、自宅周辺の様子に注意を払う習慣をつけましょう。

其ノ六 “いつもと違う”と感じたら、すぐに報告する

警戒が必要な雨量に達したり、『土砂災害緊急避難地図』に記載されている現象や、予兆現象を確認したら、すぐに報告体制に従って報告しましょう。

《 緊急時の対応 》

其ノ七 みんなで協力して避難する

“避難の呼びかけ”があったら、隣近所で声をかけあって、すぐに避難しましょう。一人で避難することが困難な方への支援も、隣近所で協力して対応しましょう。

1.避難場所

【安全に避難できる段階で避難が必要と判断した場合】

朝日村中央公民館(村指定避難所)

または **親戚・友人宅など村内に限らずより安全な場所**

※村指定避難所の開設は、状況により村が判断します。避難する前に役場(99-2001)に問い合わせて下さい。

みんなで
逃げよう!



2.避難をはじめると目安

- ① 雨の降りはじめから各世帯が寸胴容器(ワンカップ等)で簡易雨量観測を行い、以下のいずれかの状況になった場合。

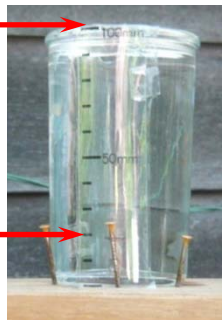
★ **連続雨量 100mm**

(降りはじめから10cmたまった場合)

もしくは

★ **時間雨量 20mm**

(1時間で2cmたまった場合)



◎ワンカップ雨量計の作り方◎

容器の底から1cm刻みのメモリをマジックペンなどで書く。

◎雨量計の設置場所◎

雨をさえぎるものがない平坦な場所に水平に固定する

壁や木から離す



- ② いつもと違う(災害につながると思われる予兆)現象を確認した場合。
- ③ 朝日村役場から「避難勧告」が発令された場合。

住民が上記①,②の状況を確認したら、以下の報告体制にしたがって報告する。

報告体制

住民



伍長



地区長

地区長は以下の連絡体制にしたがって、“避難の呼びかけ”をする。

連絡体制

住民



伍長



地区長



役場

3.避難経路 “避難の呼びかけ”があり、中央公民館へ避難する場合

ケース1

宮沢が氾濫しておらず熱田神社前の道路が通行可能な時
まずはアイススケート場に集合・点呼。それから朝日橋を通過して避難所へ。

集合・点呼場所

アイススケート場

点呼責任者 第1・3・6・7伍長

朝日橋 経由

避難所

中央公民館

ケース2

宮沢から災害発生のおそれがあり、熱田神社前道路の通行が危険な時
下組生活改善施設を境に2班に分かれて行動します。自宅が東・西どちらの
範囲に含まれているか、『土砂災害緊急避難地図』で確認して下さい。

《 東側の住民 》



集合・点呼場所

アイススケート場

点呼責任者 第1・3伍長

朝日橋
経由

《 西側の住民 》



集合・点呼場所

針尾バス停前三叉路

点呼責任者 第6・7伍長

針尾橋
経由



中央公民館

(※)集合場所に来ることが困難な世帯(高齢者宅など)で、各自で避難する場合は、その旨を点呼責任者へ事前連絡すること。

●上記の避難方法が危険な状況の場合…

道路が冠水している中での避難は危険を伴います。突発的な豪雨や逃げ遅れで指定避難所への避難が困難な場合、移動距離は短くすることを考え、自宅を含めてがけや沢から離れた建物の2階以上へ緊急避難して下さい。

土砂災害に関する基礎知識

■降雨時には、特に土砂災害の発生に注意しましょう

土砂災害の多くは、水(降雨、地下水)が関与しています。次のような雨が降ったら、土砂災害が発生する危険性が高いので注意して下さい。

1時間に20mm以上の雨 ……車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨
連続雨量で100mm以上の雨 …雨が降り出してから、10cmのコップがあふれる

■行政からの情報に注意しましょう

土砂災害が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始して下さい。

土砂災害警戒情報 …… 地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報
特別警報 …… 数十年に一度の大雨などにより、重大な災害が発生する可能性が非常に高まった場合に、気象庁から市町村単位で発表される情報
避難勧告・避難指示 …… 災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、朝日村役場から発表される情報

■前ぶれ(予兆現象)に注意しましょう

土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの状況に注意して、次のような状況を見つけたら、直ちに避難を開始して下さい。

◇がけ崩れの発生前には…



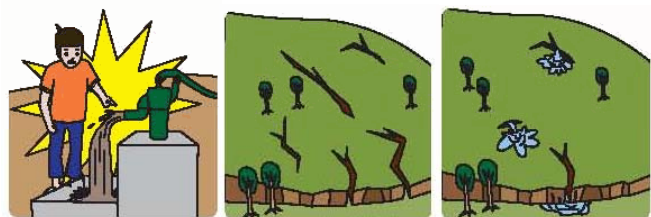
がけに割れ目が見える がけから水が湧き出ている がけから小石がばらばら落ちてくる

◇土石流の発生前には…



急に川の流れが濁り流木が混ざっている 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる 山鳴りがする

◇地すべりの発生前には…



沢や井戸の水が濁る 地面にひび割れができる 斜面から水が噴き出す

◇この他にも…

- ・地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ・ものの腐ったような臭い(腐葉土、下肥の臭い)がする
- ・小動物が異常行動(騒ぐなど)をとる など

災害に備えて用意しておくもの

1. 非常持ち出し袋

※非常持ち出し袋は、一度背負ってみて重過ぎないか、確認してみましょう。

(1)日頃から袋に入れて、保管しておくもの

<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 予備の電池や充電器
<input type="checkbox"/> ロープ	<input type="checkbox"/> ろうそく	<input type="checkbox"/> マッチ・ライター
<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 洗面用具
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 飲料水
<input type="checkbox"/> 缶きり・栓抜き	<input type="checkbox"/> 下着類・衣類	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2)避難する際に、袋に入れて持ち出す貴重品(コピーを取れるものは取っておきましょう)

<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 預金通帳
<input type="checkbox"/> 免許証	<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 権利証書
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3)人により必要となる持ち出し品

<input type="checkbox"/> 眼鏡やコンタクトレンズ	<input type="checkbox"/> 補聴器	<input type="checkbox"/> 病人やお年寄りの常備薬
<input type="checkbox"/> ベビー用品	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 避難する時に役立つもの

<input type="checkbox"/> 笛	<input type="checkbox"/> 避難用の運動靴かスリッパ	<input type="checkbox"/> カッパなどの雨具
<input type="checkbox"/> 足元の安全を確認する棒	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> ヘルメット
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. 地域が孤立してしまった場合を考えて、用意しておく役立つもの

<input type="checkbox"/> 米(アルファ米や缶詰)	<input type="checkbox"/> 水(※一人一日約3リットル必要)	
<input type="checkbox"/> 皿、コップ、割り箸、ナイフ	<input type="checkbox"/> 毛布・寝袋	<input type="checkbox"/> カセットコンロ
<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 割り箸	<input type="checkbox"/> 床に敷くシート
<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> キャンピング用品	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※これ以外で、用意しておくべきだと思うものがあれば、空欄の部分に物品名を記入して下さい。

居^こ安^{あん}思^し危^き
思則有備
有備無患

安きに居りて危きを思ふ

思えば則ち備え有り

備え有れば患い無し



平穏な今、被災したときのことを考えることができますか？
考えることができれば、それに備えることができます。
備えておけば、災いをやり過ごすことができるでしょう。

出典：「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」（左丘明の作と伝えられる）より
「春秋」は孔子が編集した伝えられる史書（前480年頃）



《東》の住民

- アイススケート場へ一時集合する
- 第1・3伍長が点呼を取った後、朝日橋を経由し中央公民館へ避難する

《西》の住民

- ケース1: 宮沢が氾濫していない時
アイススケート場へ一時集合・点呼後、朝日橋を経由し中央公民館へ避難する。
- ケース2: 宮沢の氾濫によって
熱田神社前の道を通るのが危険な時
針尾バス停前の三叉路へ一時集合する
第6・7伍長が点呼を取った後、針尾橋を経由し中央公民館へ避難する

住民懇談会で把握した地域内の危険箇所および避難場所

- 降雨時に確認される予兆現象および危険箇所
- 過去に災害が発生した場所および危険だった場所
- 自主避難時集合場所および避難場所

● 村指定避難所
● 村指定避難場所

○ 避難の範囲

＜下組地区 自主避難基準＞

- 連続雨量が100mmに達した時 (ワンカップで10cm)
時間雨量が20mmに達した時 (ワンカップで2cm)
- いつもと違う(災害につながると思われる予兆)現象を確認した時

上記いずれかの状況を確認した場合、報告体制に従い報告する

朝日村 下組地区 土砂災害緊急避難地図

法律によって指定された地域の危険箇所

- 土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域 (土石流)
- 土砂災害警戒区域 (土石流)

0 50 150 300m